

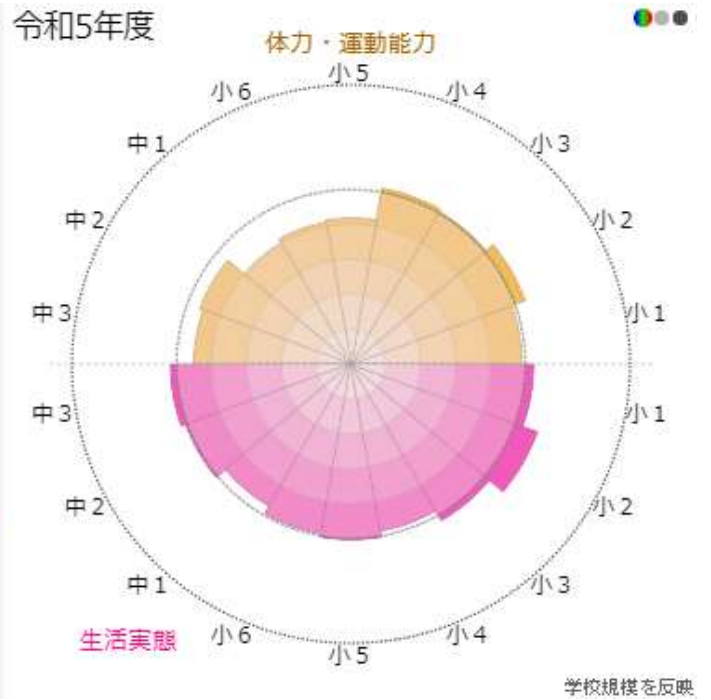
# 令和5年度 横浜市学力・学習状況調査

## 【概要】

令和5年度

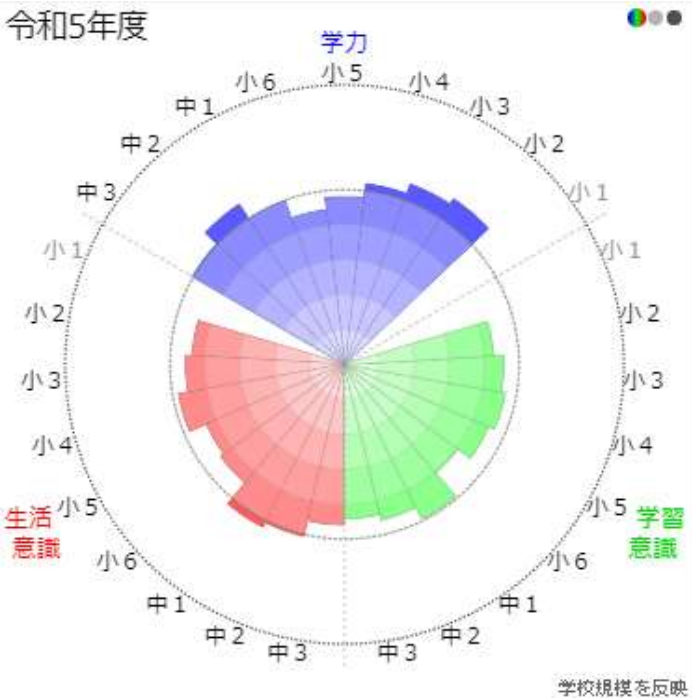


令和5年度



## 【学力調査チャート-経年変化】

令和5年度



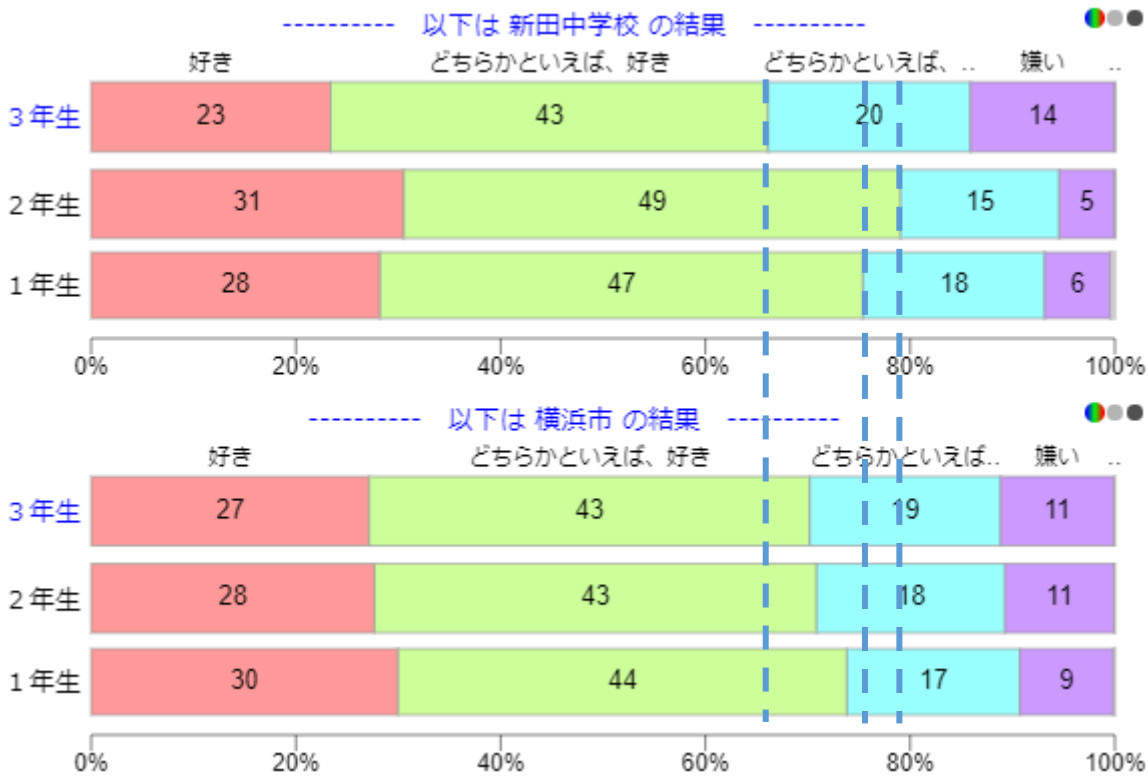
令和4年度



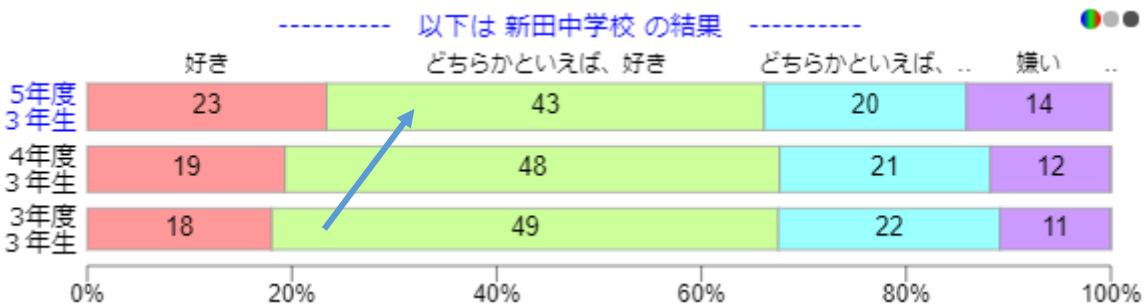
- 学力については、継続的に横浜市の平均を超えており、高等学校進学に向けての基本的な知識や技能・表現力を身につけていると考えられる。
- 学習意識については、すべての学年で横浜市の平均を下回っており、自身の課題を把握し解決に向けて主体的に学習に取り組む力の育成が必要である。知識獲得型から探究活動型の授業改善を推進していく。
- 生活意識について、3年生は横浜市の平均を下回っているものの、1・2年生を中心に意識の向上が見られる。特に、課題としていた「自分のことが好きですか。」「学校は安心できる場所だと思いますか。」の項目に

については、昨年度から取り組んでいる「学校行事を中心とした探究的な学習や体験的・協働的な教育活動」の成果であると考えられる。しかし、自分のことが嫌いと感じている生徒や学校が安心できる場所でないと感じている生徒も多く、引き続き自己存在感の向上を目指し、さまざまな教育活動を改善する必要がある。

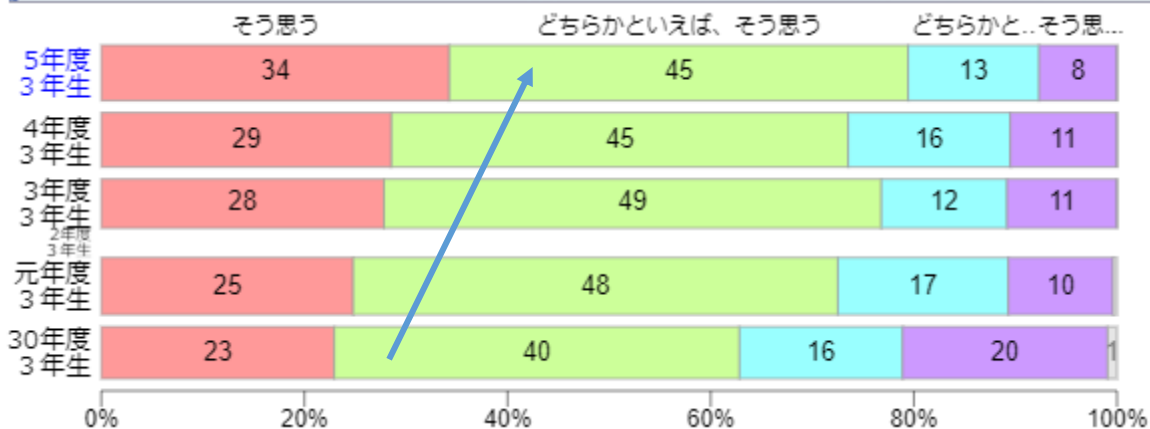
### 自分のことが好きですか (対 今年度 他学年)



### 自分のことが好きですか (対 過去年度 同学年)



### 学校は安心できる場所だと思いますか (対 過去年度 同学年)



## 【体力・運動能力調査-経年変化】

令和5年度



令和4年度



- 体力・運動能力について、すべての学年で横浜市平均を下回っており、基礎的な体力や運動能力の獲得に向けた教育活動の改善が望まれる。保健体育の授業においては、ストレッチや準備運動など継続的な取組を充実させ、生活の中で体を動かす習慣の獲得を目指す必要がある。
- 生活習慣について、1・2学年で横浜市平均を上回っており、昨年度と比較し基本的な生活習慣の改善が見られます。特に、食習慣については、朝食を毎日食べると答えた生徒が全学年で横浜市平均を超えており、保護者の理解や協力のもと、保健や家庭科の学習における食育への理解が深まっている。

### 朝食の有無 (対今年度 他学年)

